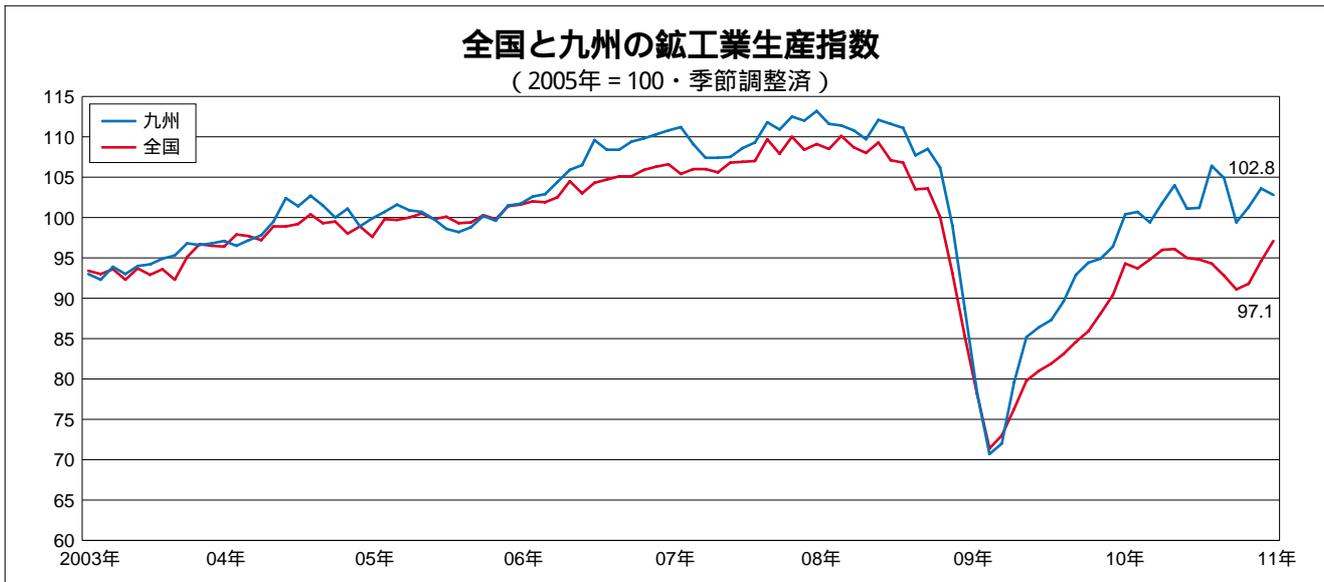


九州の鉱工業生産動向

[基調判断] 持ち直しの動きが続いている

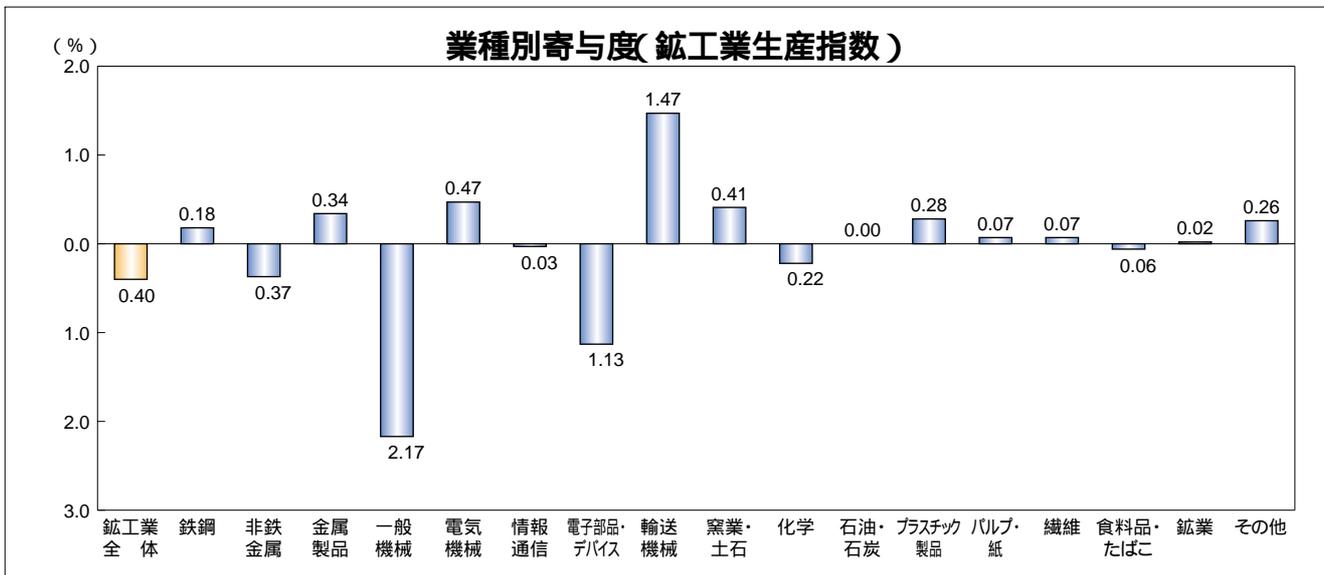
2011年1月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、輸送機械や電気機械等の生産は好調であった一方で、一般機械や電子部品・デバイス等の生産が伸び悩んだことから、前月比0.4%低下の102.8と小幅ながら前月を下回りました。しかしながら、一時的な生産調整の要素が大きく、持ち直しの動きは続いています。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向] 輸送機械を中心に17業種中11業種で上昇するも一般機械、電子部品・デバイスが大きく低下

業種別の寄与度をみると、新型車の本格生産が始まり、中国・北米向け乗用車も好調な輸送機械の他、電気機械等も上昇したことで、全17業種中11業種がプラスに寄与しました。一方、海外発電所向けボイラーや蒸気タービン等の一時的な生産減の影響等から一般機械が低下した他、国内向け液晶テレビや車載用の半導体等で生産調整等が実施されたことにより、電子部品・デバイスもマイナスに寄与する等、全体では小幅低下となりました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

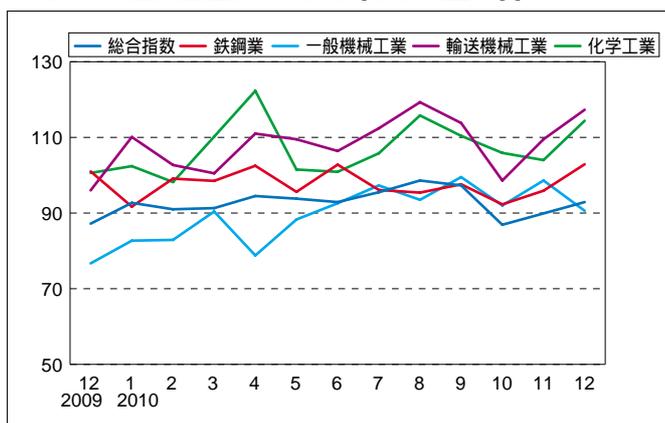
[福岡県の景気] 持ち直しの動きが見られる

生産活動では、新型車生産が本格化したことに加え、海外向け乗用車の需要も好調なことから、輸送機械が上昇したほか自動車部品の需要増加に伴い化学も好調に推移する等、持ち直しの動きが見られます。

消費面については、厳しい冷え込みが続いて客足が伸びなかったこと等が影響し前年割れとなりましたが、住宅建設については、住宅取得関連の優遇制度の効果もあって、持家取得の動きは引き続き堅調となっています。

[生産活動] 総合指数は2ヵ月連続のプラス

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



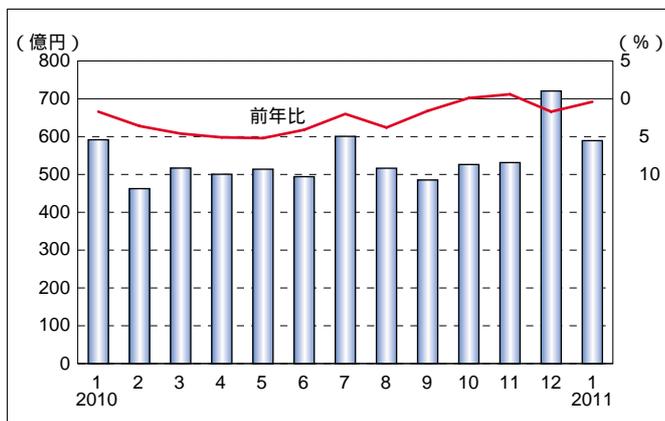
(出所)福岡県

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きをみると、総合指数は92.9となり、前月比3.3%上昇しました。

主要業種では、半導体製造装置の生産調整等から一般機械が低下した一方、新型車の本格生産が開始され、中国、北米向けの乗用車需要も好調な輸送機械が上昇したほか、シートカバー等の自動車関連部品需要も高まっていることから化学も上昇しました。

[大型小売店] 2ヵ月連続で前年割れ

福岡県の大型小売店販売額



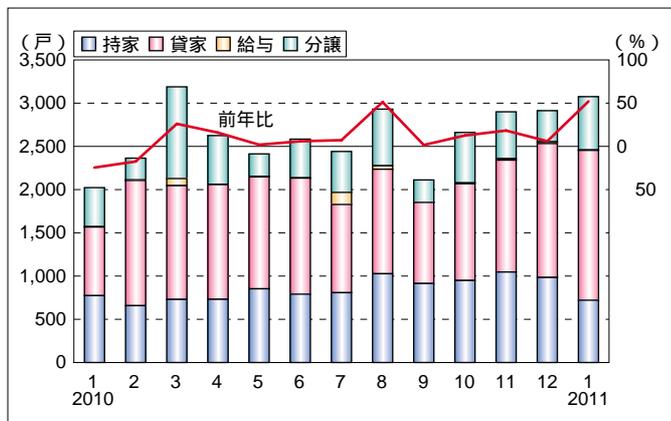
(出所)九州経済産業局

1月の大型小売店販売額は、前年同月比0.4%減の589億円で、2ヵ月連続で前年を下回りました。

通常より土曜日が1日少なかったことや厳しい冷え込みにより客足が遠のいたこと等が影響したものの、機能性肌着や防寒衣料品、鍋物関連の食材等に動きが見られたことで、小幅での減少となっています。

[住宅建設] 11ヵ月連続で前年を上回る

福岡県の新設住宅着工戸数

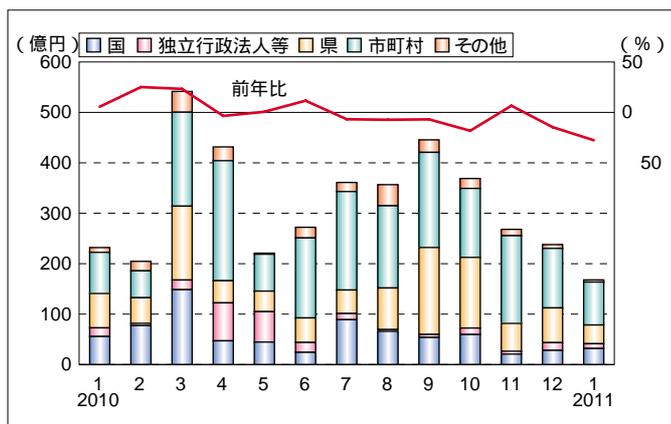


(出所) 国土交通省

1月の新設住宅着工戸数は、持家は前年同月と比べ小幅減となったものの、引き続き住宅取得関連の優遇制度の効果等により、分譲住宅についてはマンション、戸建ともに増加しています。前年同月大きく減少していた貸家についても倍増する等、全体では同52.0%増の3,075戸と11ヵ月連続で前年を上回りました。

[公共工事] 件数、請負金額ともに減少

福岡県の公共工事請負高



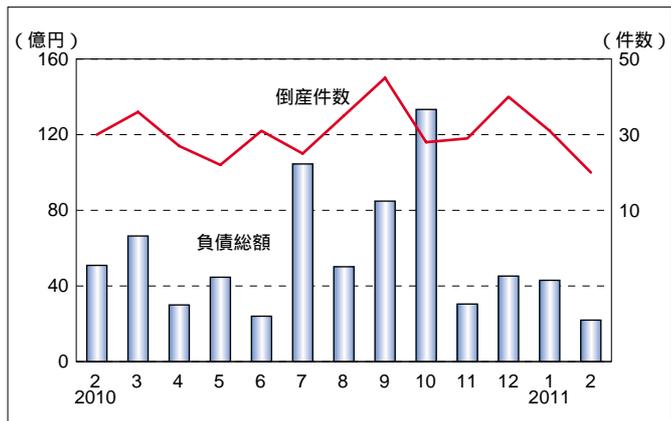
(出所) 西日本建設業保証

1月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比0.6%減の703件、金額は同27.6%減の168億円となりました。工事が前倒しになった影響等から、請負金額は2ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別にみると、下水道施設整備の大型案件等で「市町村」が増加となったものの、「国」や「県」では前年を下回っています。

[企業倒産] 件数、負債総額ともに前年を下回る

福岡県の倒産状況



(出所) 東京商工リサーチ

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、10億円以上の大型倒産が無く、建設業で倒産件数が前年比11件減少したこと等から、件数は前年同月比33.3%減の20件、負債総額は同56.9%減の22億円と件数、負債総額ともに前年を下回りました。

前月比でも、2ヵ月連続で件数、負債金額ともに減少しています。

熊本県の最近の経済動向

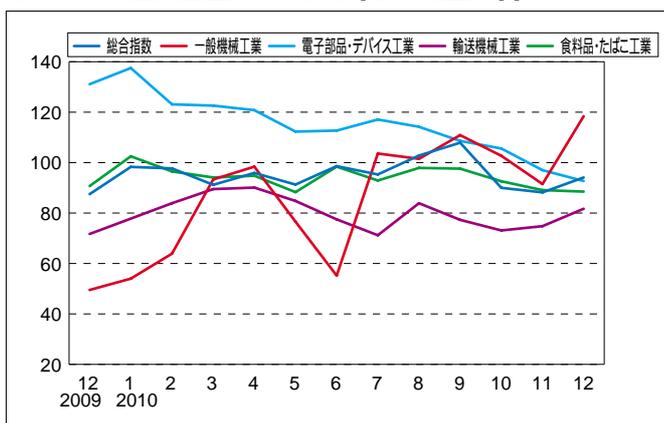
[熊本県の景気].....持ち直しの動きが見られる

生産活動では、電子部品・デバイスが海外との価格競争等から6ヵ月連続で低下しているものの、アジア向け半導体製造装置等の需要が好調な一般機械が牽引役となり、総合指数も上昇する等持ち直しの動きが見られます。

消費面では、厳しい冷え込みが続いて客足が鈍化しながらも、防寒衣料品や日用品等に動きが見られたことで横ばい圏で推移したほか、住宅建設についても、住宅取得関連の優遇制度の効果等から、持家取得の動きは堅調となっています。

[生産活動].....総合指数は3ヵ月ぶりにプラス

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



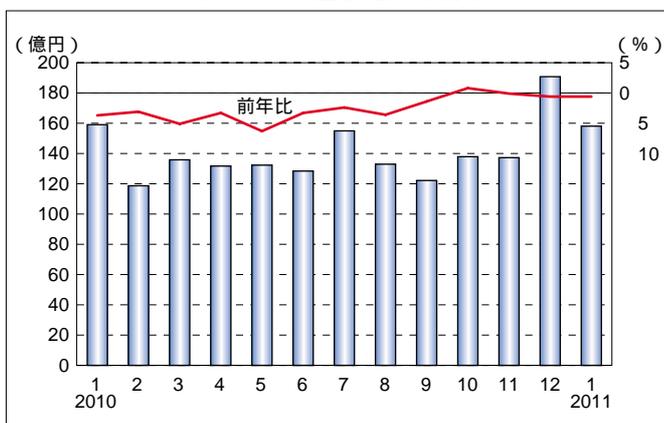
(出所)熊本県

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は94.1となり、前月比で6.7%上昇しました。

主要業種では、海外との価格競争の影響等から電子部品・デバイスが6ヵ月連続で低下した一方で、中国、台湾向け半導体製造装置等の需要が引き続き好調な一般機械は大きく上昇しました。

[大型小売店].....小幅ながら前年を下回る

熊本県の大型小売店販売額



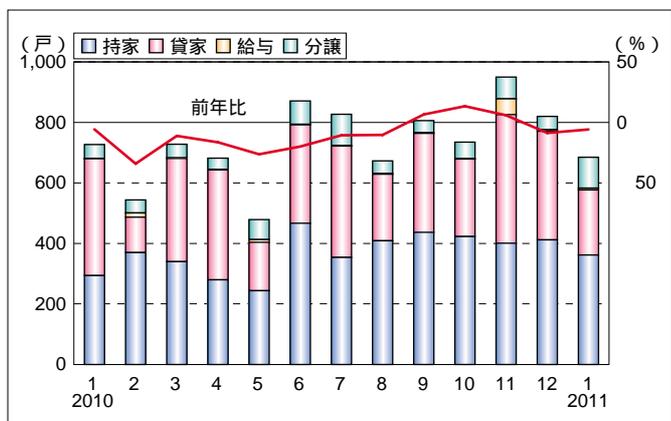
(出所)九州経済産業局

1月の大型小売店販売額は、前年同月比0.6%減の158億円で、小幅ながら3ヵ月連続で減少しました。

土曜日が通常より1日少なかったことや厳しい寒さで客足が遠のいたこと等が影響した一方で、日用品等に動きが見られたことから、全体ではほぼ横ばいとなりました。

[住宅建設] 2 ヶ月連続で前年を下回る

熊本県の新設住宅着工戸数

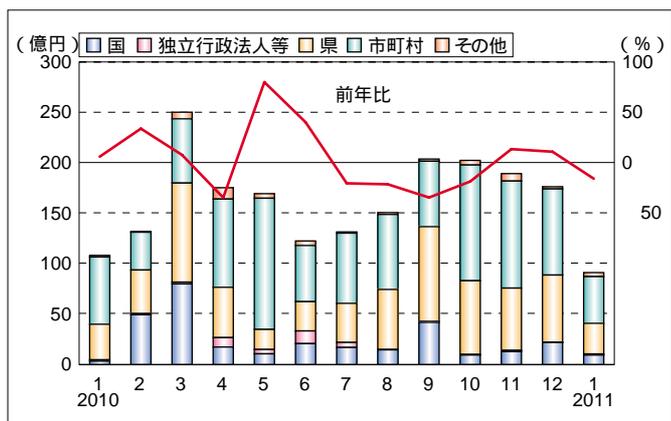


(出所)国土交通省

1月の新設住宅着工戸数は、住宅減税の効果等から、持家や分譲住宅は前年同月と比べ増加したものの、貸家が大きく減少したことから、全体では前年同月比5.8%減の685戸と2ヶ月連続で前年を下回りました。

[公共工事] 請負金額は3 ヶ月ぶりに前年を下回る

熊本県の公共工事請負高



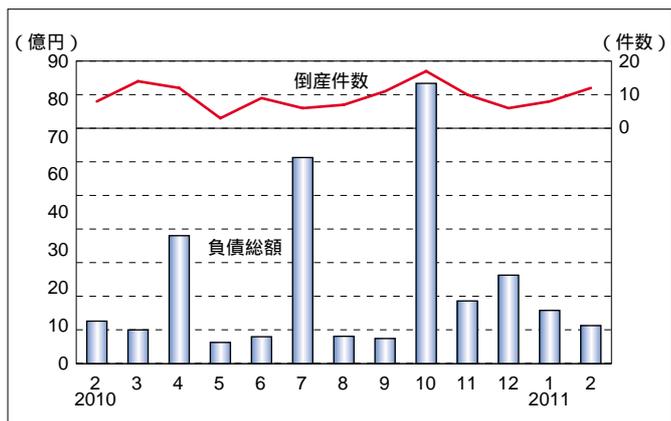
(出所)西日本建設業保証

1月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比21.3%減の484件、金額が同15.7%減の91億円となり、請負金額は3ヶ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、橋梁工事の大型案件等で「国」が増加したものの、「県」や「市町村」で前年を下回りました。

[企業倒産] 小口倒産増加

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比50.0%増の12件、負債総額は同10.6%減の11億円となりました。

前月比では、2ヶ月連続で負債総額は減少していますが、小口の倒産が増加しており件数は増加しています。

長崎県の最近の経済動向

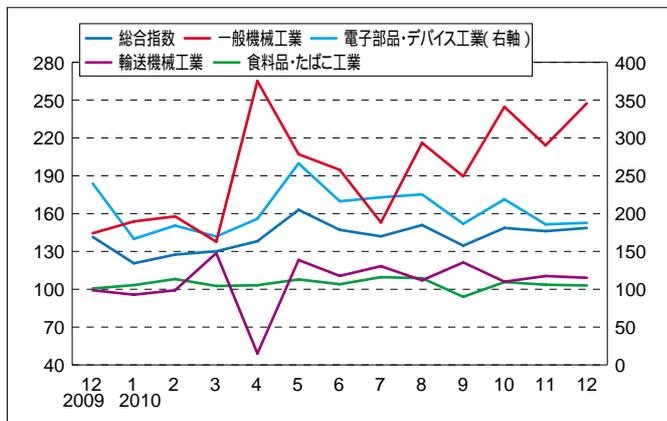
[長崎県の景気].....持ち直しの動きが続いている

生産活動では、海外向けの発電設備等の需要が好調な一般機械が牽引役となり、持ち直しの動きが続いています。

消費面では、主力の飲食料品が堅調でプラスに推移したほか、住宅建設については、住宅取得関連の優遇制度の効果等もあって、持家取得の動きは引き続き堅調となっています。

[生産活動].....総合指数は2ヵ月ぶりにプラス

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



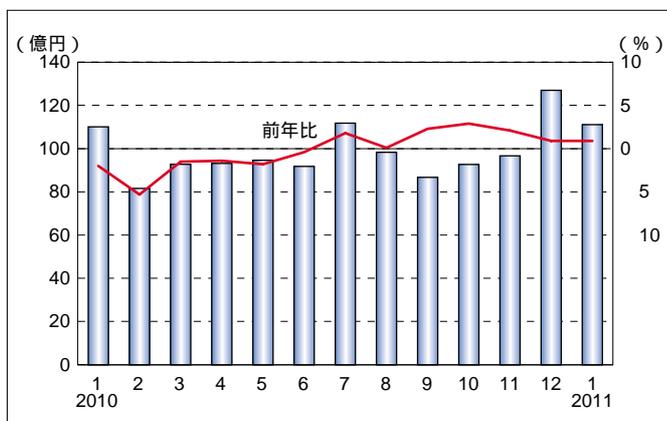
(出所)長崎県

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きをみると、総合指数は148.6となり、前月比1.7%上昇しました。

主要業種を見ると、主に海外の発電設備向けボイラーや蒸気タービン等が好調なことから一般機械が大きく上昇したほかは、横ばい圏で推移しています。

[大型小売店].....7ヵ月連続で前年を上回る

長崎県の大型小売店販売額



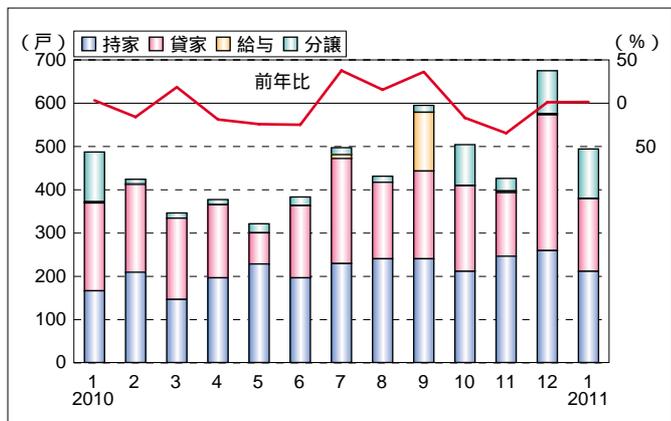
(出所)九州経済産業局

1月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%増の111億円と、7ヵ月連続で前年を上回りました。

通常より土曜日が1日少なかったことや厳しい冷え込みにより客足が遠のいたことが影響したものの、防寒衣料品や寝具に動きが見られたことや、堅調に推移した飲食料品が消費の牽引役となり、全体ではプラスで推移しました。

[住宅建設].....2ヵ月連続で前年を上回る

長崎県の新設住宅着工戸数

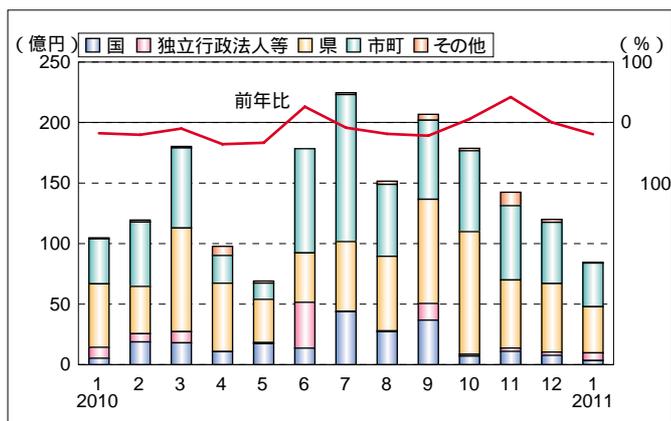


(出所)国土交通省

1月の新設住宅着工戸数は、貸家や分譲住宅で前年同月と比べ小幅減となった一方で、住宅取得関連の優遇制度の効果等から持家については増加する等、全体では前年同月比1.4%増の494戸と2ヵ月連続で前年を上回りました。

[公共工事].....件数、請負金額ともに前年を下回る

長崎県の公共工事請負高



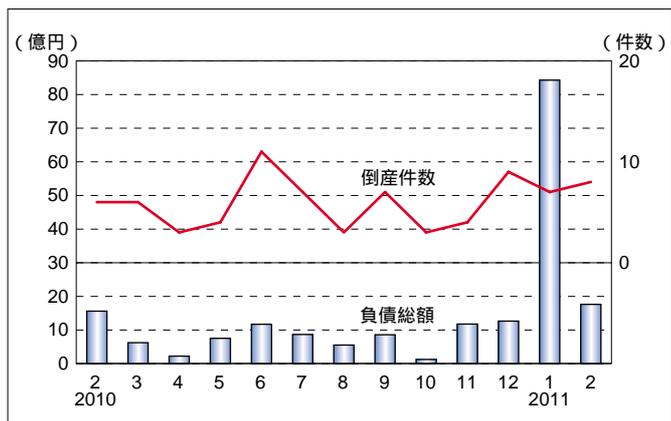
(出所)西日本建設業保証

1月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比20.9%減の345件、金額が同19.3%減の85億円と、件数、請負金額ともに前年を下回りました。

発注者別の請負金額では、街路改良工事や水道施設等の大型工事案件はあるものの、全ての発注者で前年同月と比べ減少しています。

[企業倒産].....件数、金額ともに前年より微増

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%増の8件、負債総額は同13.0%増の9億円となり、件数、負債総額ともに前年を上回りました。

前月発生した大型倒産の為、負債総額は大幅増となっていますが、件数は小幅ながら増加しています。